

令和 8 年度第 2 回喜界町地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時	令和 8 年 10 月 6 日（火）13：30～
場 所	喜界町役場 1 階多目的室
出席者	23 名 【委員】 隈崎 悦男 （喜界町長） 平馬 尚樹 （喜界町企画観光課長） 廣 清太 （喜界町教育委員会総務課長） 萩原 勤 （株式会社喜界総合企画 管理課長） 實田 江利子（有限会社日の出タクシー 運行管理者） 山崎 望 （一般社団法人奄美自動車連合会 専務理事） 三山 八十三（喜界町区長会連絡協議会 会長） 積山 泰夫 （喜界町長寿会連合会 会長） 榊 登志幸 （九州運輸局鹿児島運輸支局 首席運輸企画専門官） 中村 翔 （九州運輸局鹿児島運輸支局 首席運輸企画専門官） （随行）中野 克哉（九州運輸局鹿児島運輸支局 運輸企画専門官） 富山 豪 （鹿児島県大島支庁喜界事務所長） 英 憲仁 （喜界町まちづくり課長） 徳永 信之 （鹿児島県奄美警察署喜界幹部派出所長）※代理出席 宮本 一徹 （喜界島観光物産協会会長） 宮田 雄次 （奄美海運株式会社 総務部参事）※オンライン代理出席（大山昌純） 藤原 玄貴 （鹿児島県総合政策部交通政策課長）※オンライン代理出席（神園健五） 西尾 勝幸 （喜界町地域公共交通活性化協議会 代表社員） 界田 満仁 （社会福祉法人喜界町社会福祉協議会長） 徳 成寿 （合同会社孝心 代表社員） 【関係者】 眞竹 龍太 （株式会社九州経済研究所） 新入 智哉 （株式会社九州経済研究所） 【事務局】 向井 大吾 （喜界町企画観光課 企画調整チーム 補佐）
欠席者	【委員】 土岐 和貴 （喜界町議会総務文教常任委員長）※委任状提出 永井 昌徳 （喜界町総務課政策調整管理監）※委任状提出 喜島 正樹 （喜界町保健福祉課長）※委任状提出 久保 秀樹 （株式会社喜界総合企画 運転者代表） 園田 直樹 （認可地縁団体コミュニティ喜界協議会 代表）※委任状提出 都 一成 （医療法人徳洲会喜界徳洲会病院 総務課事務長）※委任状提出

会次第	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 協議 (1) 地域公共交通確保維持改善事業（共同化・協業化促進タイプ）実施に伴う 令和9年度公共ライドシェアバスの運行体制について (2) その他 4. 閉会
資 料	・会次第 ・協議会名簿 ・第1号議案関係 ①地域公共交通確保維持改善事業（共同化・協業化促進タイプ） ②住民の移動手段の確保・維持無向けたスクールバスの活用事業

2. 会長あいさつ

皆さんこんにちは。本日は大変お忙しい中、ご参集いただきましてありがとうございます。関係各位の皆様におかれましては、日頃から本町の公共交通の関連業務につきまして、ご理解・ご尽力をいただいておりますことに感謝を申し上げます。

当協議会では、まず第1回目を8月26日に開催を予定しておりましたが、台風の影響で開催ができず、令和7年度決算並びに令和8年度予算につきましては、書面決議とさせていただいたところでございます。ご協力誠にありがとうございました。

そして本日は、今年度実施予定の国庫補助事業「地域公共交通確保維持改善事業（共同化・協業化促進タイプ）」の説明が主となっております。限られた時間ではございますけれども、皆様の自由なご意見をお聞かせいただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3. 協議

(1) 地域公共交通確保維持改善事業（共同化・協業化促進タイプ）実施に伴う 令和9年度公共ライドシェアバスの運行体制について

（事務局） 喜界町として、国の補助事業「地域公共交通確保維持改善事業（共同化・協業化促進タイプ）」に事業採択されたことを報告

（九州経済研究所） 国庫補助事業受託事業者が資料①、②に沿って説明

● 背景と目的:

- 運転手不足、車両の利活用、財政負担増、路線バス撤退などの課題に対応するため、町内の移動資源を最大限に活用・確保する。

- 教育委員会が担う「スクールバス」と、協議会が担う「公共ライドシェアバス」の共同管理・協業化を検討。
- **活用イメージ:**
 - 登下校時間帯：混乗等の検討。(乗合化など手法は本年度検討)
 - 日中（児童・生徒の利用がない時間帯）：住民の移動手段確保への活用。
- **スケジュール:**
 - **令和 8 年度（今年度）**：利用実態・ニーズ調査、運行計画の作成（九州経済研究所へ委託）。
 - **令和 9 年度**：実証運行の実施。
 - **令和 10 年度**：本格運行の開始を目指す。

（事務局） この事業を通し令和 9 年度には実証運行も予定されているため、現在活性化協議会にて運行している「公共ライドシェアバス」を、令和 9 年度も引き続き現在と同様の形（活性化協議会による運行）とさせていただきたいという提案。

（委員） 対象地域における児童・生徒数や住民の利用実績・ニーズを正確に把握した上で、車両の「サイズダウン」を検討すべきではないか。
大型車両はランニングコストが高いため、売却等も含めて実態に見合ったサイズの車両へ変更した方が費用対効果も高まると考える。

（九州経済研究所） 今後の調査を通じて、児童生徒数や地域住民の利用ニーズ等をしっかりと把握した上で検討を進めていく。

【決議】 承認

その他（意見交換）

- ・ 公共ライドシェアバス、スクールバス、タクシーの現状等の報告。
 - ・ 運転手不足・高齢化、2 種免許保持者の不足
 - ・ バス事業についても質の高いサービスの維持
 - ・ 島内経済への影響
 - ・ 自動運転
- などの意見があり、今後、持続可能性の高い運行に向けて検討していく。

4. 閉会